シャンティ 2020年5月1日発行 増刊 通巻305号
1985年6月28日第三種郵便物許可 ISSN1343-4748

シャンティ国際ボランティア会

# 年次報告書 2019

## 本の力を、生きる力に。

公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
Shanti Volunteer Association

© Yoshifumi Kawabata

**ある日、畑でたくさんの人が**
**死んでた。**
**腕のない死体も、**
**足がない死体もあった。**
**だから僕は、お父さんと**
**街に出てきたんだ。**
**でも、今は楽しい。**
**図書館はとても楽しいよ。**
**勉強もがんばるって、約束するね。**

アフガニスタンのある街で出会った少年、ヌール。

彼は父親とともに、故郷の村で暮らしていました。牛飼いの父を手伝い、畑に牛を連れていく仕事をしていました。

そんな父子を、ある日突然爆撃が襲います。畑に転がったいくつものむごたらしい死体を目にした二人は、故郷をあとにし、命からがら街へ逃げのびます。

しかし、街での生活は困窮を極めます。家の屋根はプラスチックのつぎはぎだらけで、ひどい雨漏りがします。家には寒さをしのぐ毛布さえありません。食べるものにも困り、朝は何も食べずお茶だけを飲んでいました。ヌールは爆撃の恐怖にさらされたあげく、見知らぬ街のボロボロの家で、食うや食わずの生活を強いられることになったのです。

こんな状況を余儀なくされたら、普通は生きるだけで精一杯です。読書や勉強どころではないかもしれません。

ところが、ヌールは「図書館が楽しい」と言います。「勉強もがんばる。約束する」とさえ言います。爆撃に怯え、不安な日々を送りながらも、「本を読みたい」「学校で勉強がしたい」と願う。それは日本で暮らす私たちには、想像しがたいことかもしれません。

しかし、実際に紛争地で出会う子どもたちは本が大好きです。学校での勉強も大好きです。本を読みながら想像力を働かせ、夢を思い描きながら勉強することが、つらい毎日を乗り越える大きな支えになるからです。

アフガニスタンでは紛争が絶えません。そして今現在も、罪のない人々が命の危険にさらされています。

この絶望的な状況にありながらなお、本を読み、勉強することを望むヌールのような少年は、戦火の闇に灯る希望の光です。私たちには、この希望の光が消えぬよう、図書館と学校を守り、本と教育を届け続ける責任があるのです。

© Hiromi Yasui

# シャンティの目指す姿、活動

## 共に生き、共に学ぶ。

世界には、紛争、貧困、自然災害などで教育を受けられない人たちがたくさんいます。私たちは、厳しい環境の中でも安心して学べる機会をつくる活動を行っています。

「共に生き、共に学ぶ」ことのできる平和（シャンティ）な社会をつくりたい。シャンティは、人々の考える力、創造する力を支え、共に社会や生活の問題を解決していく NGO となります。

### シャンティの使命

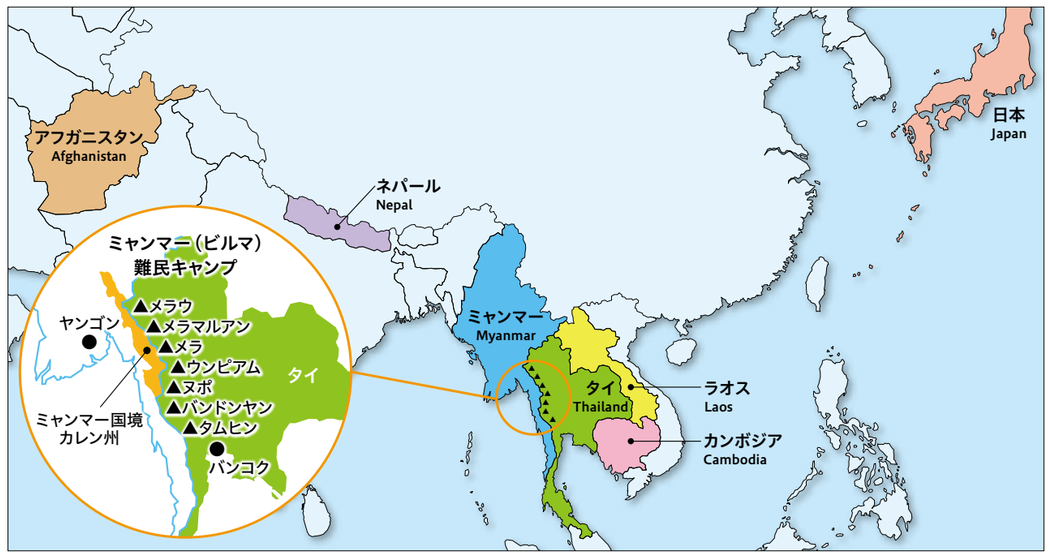
人間の尊厳と多様性を尊び、「共に生き、共に学ぶ」ことのできる平和（シャンティ）な社会を実現します。

### シャンティが目指す姿

人々の考える力、創造する力を支え、共に社会や生活の問題を解決していく NGO となります。

### シャンティの基本姿勢

1. 苦難の中にいる人々と、痛み、悲しみ、喜びを分かちあい、共に歩みます。
2. 地域の伝統的な文化を重視し、民族、宗教、言語の違いを尊重します。
3. 人々が自ら気づき、行動し、自立へと向かう開発を重視します。
4. 互いに支えあい、高めあうための触媒としての役割を果たします。




シャンティの活動地域

## 2030年までの達成を目指す「持続可能な開発目標（SDGs）」

### ●シャンティが関係している「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標

世界の国々が話し合い、2030 年までに先進国、途上国を問わず、世界が取り組むべき 17 の目標として、2015 年 9 月に国連総会で「持続可能な開発目標（SDGs）」が採択されました。シャンティは「目標 4. 質の高い教育をみんなに」の達成に向け、教育課題の解決に取り組むだけでなく、SDGs が掲げるさまざまな目標達成に向けた取り組みを行っています。

## 子どもたちが安心して学べる環境をつくるために。

安心して学ぶことができる場所、学ぶための本、子どもに正しい学びを伝える人。どれが欠けても子どもたちが安心して学べる環境はつくれません。

シャンティは、この環境づくりを活動の 3 本柱とし、現地の行政や住民と一体となって教育支援活動を行っています。

シャンティが行う活動の 3 つの柱とステークホルダー

# シャンティ、39年間のあゆみ

- 1980年 ・松永然道 初代会長、有馬実成 初代事務局長らが前身の曹洞宗東南アジア難民救済会議（JSRC）を設立
- 1980年 ・カンボジア難民支援として図書館活動を開始
- 1980年 ・タイ事務所開設
- 1981年 ・曹洞宗ボランティア会（SVA）結成
- 1984年 ・初の開発事業がタイ・スリン県バーンサワイ村で始まる
- 1989年 ・タイ・バンコクのクロントイ・スラムに職業訓練センターを開設
- 1990年 ・カンボジア事務所開設
- 1990年 ・タイに現地法人シーカー・アジア財団（SAF）を設立
- 1991年 ・ラオス事務所開設
- 1991年 ・「曹洞宗国際ボランティア会」と改称
- 1992年 ・阪神・淡路大震災被災者支援活動を実施
- 1995年
- 1999年 ・ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所開設
- 1999年 ・「社団法人シャンティ国際ボランティア会」となる
- 1999年 ・「絵本を届ける運動」を開始
- 2000年
- 2001年 ・アメリカ同時多発テロ後、アフガニスタン難民支援活動開始
- 2003年 ・アフガニスタン事務所開設
- 2005年 ・愛・地球博「地球市民村」へ参加
- 2005年 ・「アジアの図書館サポーター」制度開始
- 2010年 ・宮城県気仙沼市と岩手県遠野市に事務所を開設
- 2010年 ・東日本大震災被災者支援活動実施
- 2010年 ・設立30周年
- 2010年 ・「公益社団法人」に法人格を移行
- 2011年
- 2012年 ・宮城県山元町に事務所を開設
- 2014年 ・ミャンマー事務所開設
- 2015年 ・ネパール大地震被災者支援を実施
- 2015年 ・シーカー・アジア財団現地自立化
- 2015年 ・設立35周年
- 2015年 ・ネパール事務所開設
- 2016年
- 2019年 ・ミャンマー国境支援事業事務所開設
- 2019年 ・曹洞宗と相互協力協約書締結

| 活動実績 | 2019年度 | 通算 |
|---|---|---|
| **実績1 本を読む機会づくり** | | |
| 絵本出版：<br>届けた絵本：<br>図書館利用者： | 16タイトル<br>18,080冊<br>75万人 | 509タイトル<br>330,316冊<br>1,570万人 |
| **実績2 人を育てる** | | |
| 研修参加者： | 56回/3,124人 | 636回/37,336人 |
| **実績3 安心できる場づくり** | | |
| 学校建設：<br>図書館・図書室設置： | 14校<br>63館・室 | 414校<br>939館・室 |
| **実績4 緊急救援** | | |
| 緊急救援出動回数： | 3回（海外1回、国内2回） | 70回（海外42回、国内28回） |

## ごあいさつ

会長 若林 恭英

日頃変わらぬご理解とご支援をいただいておりますこと心より感謝申し上げます。お陰様で設立 39 年目を迎えることができました。2019 年は、豪雨災害が各地で発生し、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

経済的格差が生み出す教育格差、国境を超えた労働者や移民の問題、気候変動といった地球環境問題など、グローバル化の影で私たちが直面する社会課題は深刻化し、また複雑化しています。このような世界情勢の中、市民社会における NGO の役割も変換点を迎え、「変化すべきもの」、「守り続けるべきもの」を見極めて活動する必要があると実感しております。

また、2019 年より 6 カ年の中期事業計画を策定しました。これは、2015 年に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の目標 4「質の高い教育をみんなに」に添うものとして、永年培ってきた教育・文化支援をより一層充実したものにしようとするものです。

私たちが考える教育とは、いわゆる学力とは違う非認知能力の向上、つまり豊かな心につながる教育として、コミュニケーション能力や自己肯定感、他者への共感性を育むことが質の高い教育になると考えています。これら中期事業計画の目標はシャンティとして単独で行えるものではありません。皆様と常日頃からの連携をはかり、平和への道を共に歩んで参りたいと念じています。

若林恭英

# タイ
Thailand

## 人々の声

**スパポン・センチャンアムパイさん（18歳）** 高校3年生

4歳の頃に父を亡くし、母が一人で家族を支えてくれました。子ども7人を学校へ通わせてくれた中、奨学金は文房具や教材を購入したり、学校の活動に参加したりするのに大変役立ちました。将来は、小学校の教師になりたいと思っています。それは自分の夢であり、母の夢でもあります。

1 パヤオ県シャンティ学生寮で開催された奨学金生交流キャンプに参加の様子
2 シーカー・アジア財団の職員とパヤオ県にある学生寮の中高生

### 現状

軍政から民政に移行したものの、プラユット暫定首相による新政権は不安定で、景気回復も滞っています。格差は広がるばかりで、幼児期教育の差が格差を作る構造となっています。また新政権以降、クロントイ・スラムの再開発に伴う立ち退き問題が浮上し、住民の間では不安感が広がっています。少子高齢化が深刻化し、労働不足を補う移民労働者が不可欠ですが、滞在許可や賃金、労働環境、子どもの教育など様々な問題を抱えています。

### 事業

**1. 教育の機会改善事業**
**（パヤオ県、タック県、バンコク・スラム地区および貧困地域）**

中高大学生422人に奨学金を授与しました（バンコク50、タック157、パヤオ215）。2月には対象3地域で家庭訪問を実施、4月に新規奨学生（中高生）の選定を行いました。

バンコク、タック、パヤオにて奨学金授与式を開催しました。バンコクではニコン・タイランド、日本国大使館、タイ国日本人会から、パヤオ、タークでは（株）ニコンから来賓をお迎えしました。8月9日から12日、パヤオ県のシャンティ学生寮にて、タイ国日本人会による支援で実現した奨学生合同ワークキャンプを開催。各対象地域から計117名が参加しました。

**2. 移動図書館活動を通した読書推進事業**

バンコク・スラム地区で76回、ミャンマーからの移民労働者の多いマハーチャイ地区で26回、計102回活動を行いました。子どもの参加数は計14,074名です。

※タイでの活動は、シャンティの元タイ事務所で、現在は現地法人のシーカー・アジア財団（SAF）が活動を行っています。シャンティとはパートナーとして事業運営における連携を行っています。

### 実績

- 図書館活動参加者：31,861人
- 奨学金支給者：422人

# カンボジア
Cambodia

1 自分の下駄箱に靴をしまう園児
2 廃材を使った工作
3 カンボジア事務所職員

## 人々の声

**クン・チャン・ソピアットラさん（30歳）** 幼稚園教員

幼稚園の教員になって10年が経ちましたが、小さな子どもとのコミュニケーションや日々の活動を組み立てることが大変でした。しかし、シャンティの研修会に参加したことで、今まで知らなかった手法や知識を学べて非常に嬉しいです。自分の指導法に自信が持てるようになりました。子どもたちは、読み聞かせやおはなしをとても楽しみにしてくれています。

### 現状

中所得国を目指し、急速な発展を続けるカンボジアですが、農村出身者が出稼ぎのため祖父母に子どもを預け都市部に移住するケースが増えた結果、農村部の高齢化が進み、残された子どもたちへの教育や福祉など包括的なサポートが求められています。純就学率が約98%に達するなど教育面では大幅な改善が見られるものの、農村部では留年率が高く、出稼ぎに同行した子どもが移住先で教育を受けられないなどの問題が依然として残されています。

### 事業

**1. 学校建設**

4校の小学校建設、備品の供与、校舎やトイレの維持管理研修を実施、過去支援校2校の修繕活動も行い、11月末までに完了しました。

**2. 図書館活動を中心としたコミュニティラーニングセンター（CLC）事業**

全CLCが州教育局に移譲され、2019年各州予算にCLC費用が組み込まれました。

収入向上に成功した農家から技術を学ぶ訪問研修会が実施され、成功例や課題の共有を通して参加住民が養鶏技術への理解を深めました。

移動図書館活動では1,810人が参加、読書機会の提供やCLC啓発活動を行いました。

**3. バッタンバン州における図書館活動を中心としたモデル中央幼稚園整備事業**

6月に建設工事が開始され、幼稚部教員への教材制作研修が実施されました。10月には教員や図書館員、州教育省職員等が参加し、幼児向け図書館活動について学ぶ訪日研修を静岡県浜松市で実施しました。

保護者向けの読書推進啓発活動が実施されました。

### 実績

- 図書館活動参加者：90,180人
- 研修会参加者：754人
- 学校建設：4校

# ラオス
Laos

1

## 人々の声

**パンシーさん（52歳）**
学校を建設した村の代表

学校建設の計画を聞いたときは、驚きと共に喜びの気持ちで胸がいっぱいになりました。村の教育環境を向上させるため、すぐ事業への参画を決意し、村の各世帯に教育の大切さを訴え、協力を仰ぎました。その結果、住民は木材の切り出しや行政への届出書類の準備などに協力してくれています。

2

1 先生による絵本の読み聞かせの様子
2 ラオス事務所職員

### 現状

ラオスは経済的に脆弱であることから、国連基準では後発開発途上国とされています。これを脱するには鉱業や水力電力などへの過度な依存を解消し、産業の多様化や回復力が必要です。教育スポーツ省は「教育セクター開発5カ年計画」を策定していますが、学校区補助金の一部は当初の計画を下回り、シャンティの事業に悪影響を及ぼす可能性があります。また、民族間における成人識字率に大きな差があることも課題の一つとなっています。

### 事業

**1. 学校建設**

2018年建設対象の小学校2校において、竣工6カ月後に検査および衛生教育を実施しました。

2019年建設対象の小学校1校の3教室校舎、もう1校の2教室校舎建設を開始しました。

**2. 初等教育における複式学級運営・学習指導能力改善事業**

「複式学級運営の手引き」の改訂及び「手作り教材事例集」の作成について、教育スポーツ省及び関係者との検討会議を実施しました。

5月に北海道教育大学の協力のもと、ルアンパバーン県パクセン郡およびポントン郡教育スポーツ事務所職員12名を対象に、複式学級運営トレーナー講座を開催しました。

6～7月にパクセン郡とポントン郡の教員163名を対象に、第1回複式学級運営研修会を3回実施し、11、12月に実地指導モニタリングを行いました。

**3. 移動図書館を通じた読書推進活動**

絵本2タイトル、計4,000冊の再版を行いました。

パクセン郡にて移動図書館活動を継続し、教員に読み聞かせや図書の管理アドバイスを行いました。合計24校でのべ4,961名の児童と283名の教員が参加し、計1,139冊が貸出されました。移動図書館活動の評価も開始しました。

### 実績

- 図書館活動参加者：5,244人
- 研修会参加者：525人
- 学校建設：2校

# アフガニスタン
Afghanistan

1

## 人々の声



**ムスバフディンさん（10歳）** 小学5年生

図書館に来る前は図書館がどのような場所なのかも知りませんでした。図書館に通い始めたことで、図書館が子どもにとって勉強するのにとても良い場所だということを知りました。私自身、図書館に来る前と比べて変わったことも多く、他の子どもたちにも図書館に来て、図書館の活動を楽しんでほしいと思います。

2

3

1 設置を支援したハサンロシャン学校図書館の様子
2 ジャララバード事務所職員　3 カブール事務所職員

### 現状

アフガニスタンの紛争構造は複雑化しています。和平に関する会合が開催されるも、政府が統治する地域は半数に留まり、平和の実現にはまだ時間を要する見込みです。9月末の大統領選では、選挙妨害をもくろむ攻撃により多数の犠牲者が出たり、システムの誤作動や不正票操作による得票の数え直しも行われ、暫定結果を巡って紛糾が続く恐れもあります。全土において未だ教室、教員、教材不足の状態にあり、学習環境は整っていません。

### 事業

**1. 学校建設**

カブール市内にあるハサンザイ校を対象に、校舎8教室1棟とトイレ5部屋1棟を建設しました。完成後教員・児童用の机・椅子などの備品を供与し、教員、児童、教育省職員、地域の人々を招いて竣工式を開催しました。

完成した校舎で、教員を対象に校舎の維持管理研修を行いました。

2020年3月下旬の新学期からは、計421名の児童が安全な教室で学べる予定です。

**2. 学校図書室事業**

ナンガハル州26校の1校あたりの月間貸出数の平均値は298冊、カブール市9校では226冊でした。全体の平均は255冊で、昨年の208冊から増加しています。

校舎建設を行った1校を含め、カブール市の5校とナンガハル州の10校、計15校に図書室を設置し、建設対象校1校以外は教員・図書館員研修を各1回実施しました。

絵本5タイトルと、紙芝居1タイトルを出版しました。

**3. 児童の読書推進事業**

ジャララバード事務所で運営する子ども図書館は、週末と祝日を除く242日開館しました。年間利用者数は40,397名に上り、1日当り166名（うち51%は女子）が利用しました。貸出冊数は14,730冊でした。また、不就学児童のための特別教室を開講し、40名が修了しました。昨年参加した子どもたちは今年編入手続きを終え、修了者の40名全員が公立校へ編入しました。

### 実績

- 絵本・紙芝居出版：6タイトル 12,400冊
  図書館活動参加者：40,397人
- 研修会参加者：789人
- 学校建設：1校

# ミャンマー
Myanmar

1

## 人々の声



**イ イ ルインさん（8 歳）**
小学 3 年生

私の趣味は歌を歌うことです。大きくなったら婦人警官になりたいと思っています。また、本を読むことも好きです。特に好きな絵本は『アリとオウム（シャンティ 2019 年出版絵本）』です。特に絵が好きで、オウムがきれいに描かれていると思います。この本を読んだ後、幸せな気持ちになります。この本を読んで、困っている友人がいたら助けることの大事さを学ぶことができました。

2

1 学校図書館で本を読む子どもたち
2 ミャンマー事務所職員

## 現状

民主化に伴い 6.6%の高い経済成長率を維持するミャンマーですが、ロヒンギャ問題の激化以降、国際社会からの批判が強まっています。ミャンマーは国連から、ロヒンギャを集団虐殺から守る措置を講じるよう命じられ、軍勢力を含む国内の少数民族問題の複雑さが浮き彫りになっています。教育面では教育改革が進み、小学 3 年生の教科書改訂が終了し全国に配布されました。

## 事業

**1. 学校建設**

寺院学校 4 校の建設を予定し、内 3 校が完成しました。各校の教室に「図書コーナー」を設置し、351 冊を配架しました。ドナーからの入金遅れが影響していた残りの 1 校も、順調に建設が進んでいます。

**2. 初等教育における読書推進活動**

公立小学校 10 校に図書コーナーを設置し、956 冊ずつ配架しました。教員向けの図書館研修に 58 名が参加しました。

2018 年度に学校図書館の設置方法や運営方法をまとめた冊子「ミニマムパッケージガイドライン（MP）」を作成し、その説明会に郡教育局の職員や学校長ら 76 名が参加しました。また、教育省主催の研修に招聘され、全国の校長 600 名に MP を配布し、読書活動に関する講義を行いました。

2018 年度に発足した児童図書出版委員会を対象に専門家による研修を実施しました。同委員会作成の 3 作品が出版されました。

14 の公共図書館から各 18 校に 3 回ずつ移動図書館活動を実施しました。34 名が参加したシャンティ主催の研修に加え、情報局主催の研修に講師として招聘されました。

**3. 東バゴー地域における読書推進活動**

タウングー県の 6 公共図書館に移動図書館バイクと 647 冊を配架しました。各図書館に 15 校を選定し、3 回ずつ移動図書館活動を実施しました。

公共図書館員への読み聞かせ研修を実施し 28 名が参加しました。移動図書館活動対象校の教員に公共図書館員から読み聞かせの指導を行い、210 校から 448 名が参加しました。

## 実績

絵本・紙芝居出版：4 タイトル 21,250 冊
図書館活動参加者：272,101 人

研修会参加者：252 人

学校建設：4 校

# ネパール
Nepal

1

## 人々の声

**ススミタさん（10 歳）**
小学 4 年生

2015 年の地震で校舎が壊れてから学校へ通っていませんでした。シャンティの支援により、学校に新しい校舎ができてとても嬉しいです。これから学校で勉強するのが楽しみです。竣工式でみんなの前でスピーチができて嬉しかったです。

2

1 校舎建設を支援したジャヤプッダ校での避難訓練
2 ネパール事務所職員

## 現状

震災の復興について、家屋を失った世帯は約 6 割しか再建できていないものの、倒壊した学校の 9 割は再建のめどが立ちました。一方、気候変動の影響によってヒマラヤの氷河湖決壊が進み、雨季の洪水によって多数の犠牲者が出ています。基礎教育の退学率は依然高く、背景には教員の不足、欠勤、授業の質の低さなどがあります。地域間、民族間、カーストによる格差が大きく、先住民族や被差別集団の子どもたちは困難な状況にあります。

## 事業

**1. 学校建設**

ヌコワット郡 2 校、ラスワ郡 1 校の校舎 18 教室を建設中です（2020 年上半期完了予定）。350 名以上の児童が安全な校舎で学べるようになります。

**2. 防災教育の実践**

図書館活動を通した子どもたちの心のケアとして、3 年次対象 12 校の幼児クラスから 5 年生までの各教室に設置する図書コーナー（本棚と約 100 冊の本）の準備を行いました。

12 校 39 名の教員に対し 2 日間の図書活動研修を行いました。参加者は 1）子どもの発達における読書の意義、2）図書コーナーの運営方法、3）防災紙芝居の演じ方および絵本の読み聞かせについて学びました。

紙芝居 2 タイトルを各 150 部発行し、38 の小学校に配布しました。また他団体を通じて小学校やコミュニティ図書館、学習センターなど 86 箇所の施設に配布されました。

**3. 防災計画の策定**

3 年次対象 12 校に学校防災計画策定研修を実施し、全校が防災計画を策定しました。教育・学校運営委員会、地域住民の防災に対する理解の向上のため、12 校で保護者を対象に学校防災計画説明会を開催、同日避難訓練を実施し、教員 168 名、児童 2,089 名、学校運営委員と保護者 52 名が参加しました。

## 実績

絵本・紙芝居出版：2 タイトル 300 冊

研修参加者：39 人

学校建設：3 校
図書コーナー設置：12 校

新事業

# ミャンマー国境支援事業

Myanmar Border Project

1

2

3

1 MBP 事務所職員　2 BRC 事務所職員　3 ミャンマー国境支援事業地図

## ミャンマー・タイ国境の状況

ミャンマー政府と少数民族との間で全土停戦協定が結ばれたことを受け、ミャンマー・タイ国境にある難民キャンプでは、ミャンマーへの難民帰還が動き始めました。しかし、本国へ帰れたとしても住居や仕事を見つけるのは容易ではなく、ミャンマーへの帰還をためらう人も少なくありません。帰還先であるミャンマー南部のカレン州南東部地域では、学校が建てられるなど帰還した子どもたちのための教育環境も整い始めていますが、村には産業がなく日雇いや出稼ぎ労働が中心で、安定収入を得るのは難しいのが現状です。

## 2019 年 7 月、ミャンマー国境支援事業事務所を立ち上げ

難民の帰還先となっているカレン州の各村では、いくつかの組織や団体がミャンマー政府と協力して、帰還民の生活環境を整えるための活動を行っています。シャンティも難民の帰還に向けた復興・再定住支援を行うため、ミャンマー国境支援事業（通称：MBP）をスタートさせました。

一方、難民キャンプからの帰還民受け入れにあたっては、タイ側にあるミャンマー（ビルマ）難民事業事務所と密に連絡を取ることが不可欠です。そこで 2019 年 7 月、帰還民を受け入れるミャンマー側のカレン州・パアンに、ミャンマー国境支援事業事務所を新たに立ち上げました。

帰還先となる各村には、図書館も学校の図書室もありません。以前から住んでいる地元住民と情報交換や交流を行うための場所もありません。そこで帰還民と地元住民とが集う場として、コミュニティリソースセンター（CRC）を建設しました。

CRC ではパソコンを設置し本を配架するなど、情報収集や情報交換ができる環境作りを行っています。また、センターに来られない子どもたちのために、学校に図書コーナーを設置したり移動図書館活動を行うなど、広く情報を届ける活動を行う予定です。

ミャンマー国境支援事業では、帰還民に対する支援だけでなく、既存住民と帰還民が共存するためのサポートも重要な取り組みとなります。そこに住むすべての人の共存をいかに促進していくか。「共に生き、共に学ぶ」というシャンティの理念をどう実践に結びつけていくか、しっかりと考えていきたいと思います。

# ミャンマー国境支援事業事務所
Myanmar Border Project Office（通称 MBP 事務所）

# ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所
Myanmar (Burma) Refugee Project Office（通称 BRC 事務所）

1

2

1 コミュニティリソースセンター（CRC）開所式の様子
2 難民キャンプ内のコミュニティ図書館で絵本を読み聞かせている様子

## 難民キャンプの現状

新政権発足後も「難民の帰還を推進しない」という方針は変わらないものの、難民キャンプへの国際的支援は減少しており、衣食住、教育、医療などの課題に直面しています。配給食糧の不足に伴い、キャンプを抜け出して低賃金労働に従事する住民も出てきています。

帰還先のミャンマーの情勢が安定せず、支援も減り続ける不安定な状況を強いられていることから、キャンプ内では薬物乱用や自殺が頻発しています。

## タイ側：難民キャンプ（BRC 事務所）

4 月に図書館全 21 館のうち 6 館を閉鎖し、近隣の図書館に統合しました。利用者数は 305,891 名（子ども 190,595 名、成人 115,296 名）でした。

図書館 15 館に大人用書籍 13,896 冊（新聞、雑誌、小説など）、子ども用の絵本 6,791 冊（日本語＋タイ語）、参考書 3,297 冊を配架しました。

絵本 1 タイトル（2 言語）2,000 冊を印刷しました。

## 実績

絵本・紙芝居出版：1 タイトル（2 言語）2,000 冊
図書館活動参加者：305,891 人

研修会参加者：687 人

## ミャンマー国内の現状

ミャンマー国内では、ミャンマー政府及び少数民族組織によって和平会議が開かれましたが、一部地域における両者の衝突は続いており、住民が死亡する事件も報告されています。

## ミャンマー側：カレン州（MBP 事務所）

レイケイコー村、ゾーズィーミャイン村の 2 村でコミュニティリソースセンター（CRC）運営委員会を組織し、委員会の役割確認、本事業の目的の共有などを行いました。

少数民族武装組織（EAO）指定の業者と契約を交わし、各村で CRC を建設しました。11 月中旬には政府職員、EAO 代表、若林会長などを招いて開所式を開催、開所後 2 カ月で累計 2,027 名（子ども 1,584 名、成人 443 名）が利用しました。

基礎調査を行い、2 年次の対象村としてメラトゥー村、タワトー村、レパトー村の 3 村を選出しました。

## 実績

図書館活動参加者：1,532 人

研修会参加者：78 人

図書館・図書室設置：CRC 2 館

# ! 緊急救援

## Emergency Relief

1 配布した衛生キットを手にするアフガニスタンの子どもたち
2 加工食品の製造・販売を通じて生計回復を目指すインドネシアの女性たち
3 台風19号で被災した長野県内での傾聴活動の様子
4 九州北部豪雨で被災地域の避難所にて

### アフガニスタン　帰還民・国内避難民への緊急救援

長引く紛争や相次ぐ自然災害により発生した国内避難民（IDP）や近隣国から帰還した難民の支援活動を実施しました。

「子どもの保護事業」では、帰還民・避難民の子どもたちのために「子どもにやさしい空間」を開設し、2019年3月までに約800人の子どもたちに心理社会的サポートを提供しました。

「水衛生事業」では、井戸の開設と衛生啓発・教育、学校の水衛生施設の整備を行い、8基の井戸を開設し、帰還民・国内避難民13,000人以上に対し衛生管理に関する啓発活動を行いました。

「女性および子どもの保護・教育・水衛生支援」を開始し、女性センターをナンガハル県に2カ所、クナール県に1カ所開設しました。女性センターでは、女性保護に関する研修のほか、識字教室や縫製教室を行い、問題を解決する力や社会とのつながりを強化するための支援を行っています。

### インドネシア　女性の生計回復支援事業

2018年9月のインドネシア・スラウェシ島地震で被災した女性たちの生計回復支援事業を実施しました。身近な農作物を原料に加工食品を製造・販売し、得た収入で生計基盤の獲得を目指しました。村ごとに女性グループを形成し、資機材の供与や研修を実施し、加工食品の製造や販売を開始しました。研修では、ジェンダーに基づく暴力に関する啓発活動も行いました。

### ネパール　洪水被災者に対する緊急救援

7月に発生した南アジアのモンスーン豪雨による洪水と地滑りに対し、緊急初動調査を実施し、緊急救援物資として米や小麦粉などの食料、衛生用品の石鹸などを335世帯に配布しました。調査に基づき物資配布事業を行うことを決定し、9月に再度職員を現地に派遣して物資を配布しました。洪水により家屋が全壊または半壊した世帯のうち、女性筆頭世帯、低カースト世帯、高齢者世帯、障碍者世帯などの1,200世帯へ必要な食料と日用品を配布しました。

### 九州北部豪雨

局所的大雨の影響により被害を受けた佐賀県武雄市及び大町町を中心に職員を3名派遣、被害状況の調査および物資配布を行いました。また地域住民が中心となって立ち上げた民間ボランティアセンターの立上げ運営の協力を行い、地元子育て団体と協力して週末の子ども広場を計6回行いました。

### 令和元年台風19号

台風の影響で千曲川が決壊した長野県長野市を中心に職員5名を派遣、被害状況の調査および物資配布、避難所での子どもの居場所づくりや傾聴カフェの活動を長野県内の曹洞宗青年会及び婦人会および地元子育て団体と共に行いました。また被災により950冊の蔵書を失った千曲市立更埴図書館へ蔵書支援を行いました。

### 被災地間交流プログラム

東日本大震災や熊本地震、平成30年7月豪雨で被災した子どもたち同士が交流できるプログラムを計3回*行いました。初めて見る火山に驚く姿、普段入る事のできない海でイルカと遊ぶ姿が印象的でした。それぞれの地域での自然体験や、災害後の復興を学ぶプログラム、お互いの町の魅力を発表し合うプログラムなどを通して、参加した子どもたちの自己肯定感や協調性、共感する力が高まるのを感じました。また地域を超えたつながりができました。

＊被災地交流プログラム
2019年　7月　愛媛県で愛媛県西予市と福島県南相馬市の小学生が交流
2019年　8月　宮城県で愛媛県西予市、宇和島市と宮城県気仙沼市の中高生が交流
2019年12月　熊本県で熊本県西原村と宮城県気仙沼市の小学生が交流



## 数字で見るシャンティの国内活動

**絵本を届ける運動**
18,080冊／2,203件

**クラフトエイド**
取扱47店
期間限定販売9回

**メディア掲載**
150件

**講演**
98件／13,334人

**イベント開催**
23回／630人

**事務所訪問**
2件／10人

### クラフトエイド

**【取扱店】**オルネ ド フォイユ（各店舗）／尾張屋（宮城県松島町）／夢工房 MARUYAMA（埼玉県さいたま市）／ウィメンズ・フェアトレードショップ カルテット（埼玉県比企郡）／アーシアンショップちば（千葉県千葉市）／かまくら富士商会（神奈川県鎌倉市）／ Teebom（静岡県静岡市）
**【期間限定販売】**GALLERY心（東京都台東区）／新宿高島屋（東京都渋谷区）／恵比寿三越（東京都渋谷区）／伊勢丹浦和店（埼玉県さいたま市）／三越伊勢丹（全国11店舗）／イデーショップ ヴァリエテ 渋谷店（東京都渋谷区）／イデーショップ ヴァリエテ 柏店（千葉県柏市）／イデーショップ 梅田店（大阪府大阪市）

### メディア掲載（150件）

NHK Eテレ／フジテレビ／ BSフジ／朝日新聞／朝日新聞デジタル／毎日新聞／東京新聞／北海道新聞／函館新聞／東海新報／静岡新聞／あぶくま時報／中日新聞／市民タイムス／高山市民時報／西日本新聞／北鹿新聞／福島民報／東奥新報／デーリー東北／北日本新聞／胆江日日新聞／米澤新聞／信濃毎日新聞／神奈川新聞／中外日報／週刊仏教タイムス／聖教新聞／スポーツ産業新報／時事ドットコム／曹洞宗報／「育てる」／「ハルメク」／「傘松」／「宣伝会議」／「国際協力キャリアガイド2019-20」国際開発ジャーナル社／『多文化社会の社会教育』明石書店／『社会貢献団体ガイドブック2020』株式会社鎌倉新書／『写真とデータでわかる平成時代①平成の国際関係』ポプラ社／『中道ママ バーミヤンを行く！』クリエイツかもがわ／ IROIRO ／ニコニコ大放送／プノンペンポスト／ My Republica ／ PR Table ／集英社「LEE」公式HP ／エルセラーン化粧品株式会社 公式HP ／ FNN.jp プライムオンライン　など（重複除く）

### イベント開催（23回／ 630人）

**【共催】**株式会社 ブックハウスカフェ／一般社団法人オープンストリートマップ・ファウンデーション・ジャパン／一般社団法人コード・フォー・ジャパン／千代田区立日比谷図書文化館／公益社団法人日本ユネスコ協会連盟／公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター／大日本印刷株式会社／特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパン／特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム／特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
**【出展】**アースデイ東京／第90回メーデー中央大会／グローバルフェスタJAPAN2019 ／図書館総合展2019

### 事務所訪問受入（2件／ 10人）

桑名市立正和中学校／高知商業高等学校

### 講演（98件／ 13,334人）

大妻女子大学／日本女子大学附属中学校／京都府立嵯峨野高校／東洋大学／港区立笄小学校／拓殖大学／大妻女子大学／高千穂大学／浦安市立日の出小学校／津島市立暁中学校／高山市立西小学校／宇都宮大学／図書館流通センター（TRC）／レオパレス21 ／クーパービジョン／電通／ NTTデータシステム技術／東京倫理法人会／テクノ・プロホールディングス／ステートストリート信託銀行／日本マスタートラスト信託銀行／三菱地所株式会社／住友生命保険相互会社／株式会社セディナ／日本郵船株式会社／曹洞宗総合研究センター／曹洞宗婦人会／曹洞宗教化センター（北海道管区、東海管区、北信越管区、近畿管区、中国管区、九州管区）／曹洞宗宗務所（北海道第一、青森県、秋田県、山形県第一、福島県、東京都、栃木県、茨城県、埼玉県第一、埼玉県第二、群馬県、神奈川県第二、岐阜県、三重県第一、三重県第二、奈良県、兵庫県、兵庫県第一、広島県、島根県第一、島根県第二、鳥取県）／永平寺／法灘寺／福昌寺／願成寺／丸子寺院の会／神應院菩提樹の会／ SVA京都寺院の会／サンタピアップみやぎボランティア会／天竜厚生会／レスキューストックヤード／教文館ナルニア国／上尾北ロータリークラブ／ WE21ジャパンとつか／ WE21ジャパン厚木／静岡県ボランティア協会／神奈川ロータリークラブ／生活協同組合パルシステム東京／荒川区社会福祉協議会／ JP労組／上尾北ロータリークラブ／ PRIC JAPAN BEAUTY／養老の森キャンプ／遺贈寄付サロン／ヒューマンライブラリー協会／独立行政法人大学改革支援・学位授与機構／文京区社会福祉協議会／ぬまづ子どもの本を学ぶ会／情報労連東海ブロック支部／新宿区立大久保図書館／三鷹市立図書館／大阪市立中央図書館／伊豆の国市立中央図書館

# あなたもできる 参加方法

## 絵本を届ける運動

日本で出版された絵本に、現地の言葉に翻訳したシールを貼りつけ、シャンティが支援するアジアの子どもたちに届けています。翻訳シールを貼りつける作業は、個人でも団体でも気軽にご参加いただけます。1999年に開始し、2019年で20周年を迎えました。

**国と地域** カンボジア、ラオス、ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ、アフガニスタン、ミャンマー、タイ

**翻訳言語** クメール語、ラオス語、カレン語、ビルマ語、パシュトゥー語／ダリ語※

絵本を手にした子どもたち
**映像「本の力を、生きる力に。」**

## これまでに届けた絵本

**330316冊**

**タイトル数：268タイトル**
**出版社数：36社**
**参加人数：のべ263,742人、企業・団体1,308件**

※アフガニスタンへ届ける言語（パシュトゥー語／ダリ語）は年によって異なります。

## クラフトエイド

クラフトエイドは、子どもの学用品や制服を買うために、家事や畑仕事の合間にアジアの女性たちが、それぞれの民族の特長を活かして手仕事でつくったアイテムを展開するシャンティのフェアトレード事業です。

**取扱商品** 衣料品、バッグ、アクセサリー、ポーチ、ステーショナリー、マスコット、キーホルダー、キッチン用品、フェアトレード食品　etc

伝統文化や技術を生かしたクラフトエイドの商品

## もので寄付するプロジェクト

読み終えた本や使っていない商品券や金券、ブランド品、貴金属、アクセサリーなどをお送りいただき、物品の買取額を寄付として、子ども支援に活用させていただきます。

| 本・CD | 商品券・金券 | それ以外のお宝 |
|---|---|---|
| ●書籍<br>●コミック<br>●音楽CD<br>●DVD/Blu-ray<br>●ゲームソフト/ゲーム機<br>●スマートフォン | ●全国共通商品券<br>●旅行券<br>●ビール券/お米券<br>●図書券/図書カード<br>●書き損じはがき<br>●未使用の切手/はがき | ●金・プラチナ・貴金属・宝石<br>●ブランド品（バッグ・食器・時計）<br>●古銭・古紙幣/金貨・貨幣<br>●骨董品・工芸品<br>●カメラ・レンズ<br>●楽器（ギター、管楽器）　etc |

事務所に届いた書き損じはがき

## アジアの図書館サポーター

アジアの子どもたちに本を読む機会や、安心できる場所を届けるため、継続して定期的にご寄付いただけるサポーターを募っています。

**1日33円/年で**
カンボジアで移動図書館活動を6回行うことができます。

**1日100円/年で**
ミャンマー（ビルマ）難民キャンプの図書館で絵本を60冊買うことができます。

**1日200円/年で**
アフガニスタンの図書館に本でいっぱいにした本棚を5つ設置できます。

**詳しくはこちらから！**

シャンティ国際ボランティア会　検索

https://sva.or.jp

**SNSで最新情報をチェック！**



# ご支援・ご協力・連携実績

## ご支援・ご協力

### アジアの図書館サポーター

**新規申込289人／合計1,595人**

### 個人からの寄付

**5,214人**
**159,580,690円**

### 団体からの寄付

**1,686団体**
**208,488,142円**

### ボランティア・インターン

●**絵本を届ける運動**
事務所ボランティア／25人
翻訳ボランティア／6人
●**クラフトエイド**
事務所ボランティア／8人
●**東京事務所インターン**
広報・リレーションズ課／8人
事業サポート課／2人

### プロボノ・協力者

●**デザイン協力**
aurinco（アウリンコ）さん
森田 明菜さん
きよはら えみこさん
●**翻訳協力**　東京YWCA国際語学ボランティアズ
ILVのみなさん
●**写真撮影**　川畑 嘉文さん／安井 浩美さん
●**映像制作**　江藤 孝治さん

**外務省「日本NGO連携無償資金協力」**

| | |
|---|---|
| カンボジア | バッタンバン州における図書館活動を中心としたモデル中央幼稚園整備事業 |
| アフガニスタン | 初等教育改善事業（第3期） |
| ミャンマー | 西バゴー地域の初等教育における読書推進事業 |
| ネパール | ヌワコット郡、ラスワ郡の被災小学校における防災能力強化事業 |
| ミャンマー国境 | ミャンマーカレン州南東部におけるコミュニティリソースセンターを通じた復興・再定住支援事業 |
| ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ | タイ・ミャンマー国境の難民キャンプにおけるコミュニティ図書館を通じたノンフォーマル教育支援事業 |

**国際協力機構（JICA）「草の根技術協力事業」**

| | |
|---|---|
| カンボジア | カンボジア・バッタンバン州の公立幼稚園における幼児教育・保育の質の改善事業（地域活性化特別枠） |
| ラオス | ラオス北部地域の教員養成校指導教官の能力強化を通じた、複式学級運営改善事業（草の根パートナー型）（第1年次） |

**ジャパン・プラットフォーム（JPF）**

| | |
|---|---|
| アフガニスタン | ナンガハル県及びクナール県における国内避難民及び帰還民の子どもの保護支援事業<br>ナンガハル県における帰還民・国内避難民およびホストコミュニティへの緊急水衛生及び教育支援事業<br>ナンガハル県及びクナール県における国内避難民・帰還民への保護・教育・水衛生支援事業 |
| ネパール | ネパールにおける南アジア洪水による被害に関する緊急初動調査<br>ネパール南部における南アジア洪水被災者に対する救援物資配布事業 |
| インドネシア | スラウェシ島ドンガラ郡及びシギ郡における女性のための生計回復支援事業 |
| 日本 | 台風19号の被害の状況およびニーズ把握を目的にした初動調査事業 |

**後援**

| | |
|---|---|
| 「絵本を届ける運動」<br>「アジアの図書館サポーター」 | 文部科学省、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 読書推進運動協議会 |

# 組織概要

**法人名**　公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
**設　立**　1981年12月10日
**社団法人登記日**　1999年8月19日
**公益社団法人移行登記日**　2011年1月4日

## 顧問

| | |
|---|---|
| 足立　房夫 | 一般社団法人協力隊を育てる会 顧問 |
| 阿部　豊淳 | 宮城県・光寿院 住職 |
| 小野田　全宏 | 特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会 理事長 |
| 川原　英照 | 熊本県・蓮華院誕生寺 貫主 |
| | 特定非営利活動法人れんげ国際ボランティア会 会長 |
| 白石　孝 | 荒川区職員労働組合 顧問 |
| 笛岡　賢司 | 静岡県・龍谷寺 住職 曹洞宗静岡県第四宗務所 所長 |

## 参与

| | |
|---|---|
| 鬼生田　俊英 | 曹洞宗宗務総長 |
| 小林　昌道 | 大本山永平寺 監院 |
| 乙川　暎元 | 大本山總持寺 監院 |

## 専門アドバイザー

| | |
|---|---|
| 大菅　俊幸 | 曹洞宗総合研究センター 講師 |
| 鎌倉　幸子 | かまくらさちこ株式会社 代表取締役 |
| 高田　博嗣 | 日本放送協会（NHK）考査室 主幹 |
| 手束　耕治 | カンボジア宗教省仏教研究所 顧問 |
| 藤谷　健 | 朝日新聞東京本社 編集担当補佐 |

## 理事・監事

| | | |
|---|---|---|
| 会　長 | 若林　恭英 | 長野県・安楽寺 住職 |
| 副会長 | 神津　佳予子 | 株式会社KOZUstyle 代表取締役社長 |
| 副会長 | 三部　義道 | 山形県・松林寺 住職 |
| 専務理事 | 岡本　和幸 | 千葉県・真光寺 住職 |
| 常務理事 | 茅野　俊幸 | 長野県・瑞松寺 住職 |
| 常務理事 | 秦　辰也 | 近畿大学国際学部 教授 |
| 常務理事 | 早坂　文明 | 宮城県・徳本寺 住職 |
| 理　事 | 有馬　嗣朗 | 山口県・原江寺 住職 |
| 理　事 | 下澤　嶽 | 静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科 教授 |
| 理　事 | 竹俣　昭孝 | 東京都・大林院 住職 |
| 理　事 | 浜野　隆 | お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 教授 |
| 理　事 | 八木澤　克昌 | シャンティ国際ボランティア会 アジア地域ディレクター |
| 理　事 | 山本　英里 | シャンティ国際ボランティア会 事務局長 |
| 理　事 | 渡邊　智恵子 | 株式会社アバンティ 代表取締役会長 |
| 監　事 | 野中　茂 | 野中公認会計士事務所所長 公認会計士・税理士 |
| 監　事 | 中山　雅之 | 国士舘大学大学院グローバルアジア研究科 教授 |

## 国内における主な受賞歴

正力松太郎賞（1984年）
ソロプチミスト日本財団賞（1985年）
外務大臣賞（1988年）
毎日国際交流賞（1994年）
東京都豊島区感謝状（1995年）
防災担当大臣賞（2004年）
兵庫県知事感謝状（2005年）
第七回井植記念「アジア太平洋文化賞」（2008年）
宮城県社会福祉協議会感謝状（2011年）
ESD岡山アワードグローバル賞（2015年）
スポーツ庁長官感謝状（2019年）

※2019年12月現在

## 参加ネットワーク一覧

### 国内

SDGs市民社会ネットワーク／「エクセレントNPO」をめざそう市民会議【運営委員】／ NGO安全管理イニシアティブ（JaNISS）【世話人】／ NGO外務省定期協議会／ NGO-JICA協議会／ NGOと企業の連携推進ネットワーク／ NGO-労働組合国際協働フォーラム／ NGO非戦ネット【呼びかけ人】／開発教育協会（DEAR）／紙芝居文化推進協議会／カンボジア市民フォーラム【世話人】／教育協力NGOネットワーク（JNNE）【事務局長】／国際協力NGOセンター（JANIC）／シーズ・市民活動を支える制度をつくる会／ジャパン・プラットフォーム（JPF）／多文化としまネットワーク／地雷廃絶日本キャンペーン（JCBL）／震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）／東京災害ボランティアネットワーク（東災ボ）【副代表】／東京都災害ボランティアセンター・アクションプラン推進会議【幹事団体】／日本アフガニスタンNGOネットワーク（JANN）／日本NPOセンター／日本図書館協会／日本ファンドレイジング協会／日本UNHCR－NGOs評議会（J－FUN）／庭野平和財団【理事】／防災・減災日本CSOネットワーク（JCC-DRR）／東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）／ビルマ市民フォーラム／仏教NGOネットワーク（BNN）【副理事長、事務局長】

### 海外

●カンボジア　Cooperation Committee for Cambodia（CCC）／ NGO Education Partnership（NEP）／カンボジア市民フォーラム／ Japanese NGO Worker's Network in Cambodia（JNNC）
●ラオス　International NGO Network ／ Japanese NGO Meeting（JANM）
●ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ　Committee for Co-ordination of Services to Displaced Persons in Thailand（CCSDPT：難民支援事業調整委員会）
●アフガニスタン　Agency Coordinating Body For Afghan Relief（ACBAR）
●ミャンマー　Japan NGOs Network – Myanmar（JNN-Myanmar）
●ネパール　Association of International NGOs in Nepal（AIN）
●全体　Asia South Pacific Association for Basic and Adult Education（ASPBAE）【理事】／ The Asia Disaster Reduction & Response Network（ADRRN）

※2019年12月現在

# 組織図

| | |
|---|---|
| 事務局員（専務理事除く、SAF、インターン含まず） | 164人 |
| 日本人職員 | 49人 |
| 現地職員 | 115人 |

※2020年4月1日時点

- 会員数 …… 1,608
- 社員会員 …… 273
  - 個人 …… 227
  - 団体 …… 46
- 賛助会員 …… 1,335
  - 個人 …… 1,147
  - 団体 …… 188

※2019年12月末時点

- 名誉会員
  宗教法人 曹洞宗
  曹洞宗大本山 永平寺
  曹洞宗大本山 總持寺

総会
理事会
会長
副会長
専務理事
常務理事
理事
顧問
監事

職 職員　日 日本人職員
パ パート　現 現地職員
イ インターン

## 事務局

事務局長

### 東京事務所

- 事業サポート課（事業サポートチーム、企画調査）：職7 パ1 合計8人
- クラフトエイド課（クラフトエイド）：職2 パ2 合計4人
- 地球市民事業課（国内事業展開チーム、国内・海外緊急救援チーム）：職6 合計6人
- 広報・リレーションズ課（支援者リレーションズチーム、マーケティングチーム、広報（会員、アジアの図書館サポーター、もので寄付するプロジェクト、絵本を届ける運動））：職8 パ5 合計13人
- 経理課（財務、経理、データ管理）：職3 パ1 合計4人
- 総務・人事室（人事・労務、総務、庶務、IT）：職3 合計3人

### アジア地域ディレクター

### 海外事務所（7事務所）

- カンボジア事務所：日3 現20 合計23人
- ラオス事務所：日1 現14 イ1 合計16人
- アフガニスタン事務所：現35 合計35人
- ミャンマー事務所：日2 現24 イ2 合計28人
- ネパール事務所：日1 現7 合計8人
- ミャンマー国境支援事業事務所：日2 現7 合計9人
- ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所：現8 イ1 合計9人

シーカー・アジア財団（SAF）（タイ）※パートナー団体

# 会計報告

## 貸借対照表

2019年12月31日現在

**資産の部**　（単位：円）

| | |
|---|---|
| 1. 流動資産（現預金等） | 127,278,170 |
| 2. 固定資産 | |
| （1）基本財産 | 50,000,000 |
| （2）特定資産（特定預金） | 326,376,485 |
| （3）その他固定資産（固定資産物品等） | 9,151,829 |
| 固定資産合計 | 385,528,314 |
| **資産合計** | **512,806,484** |

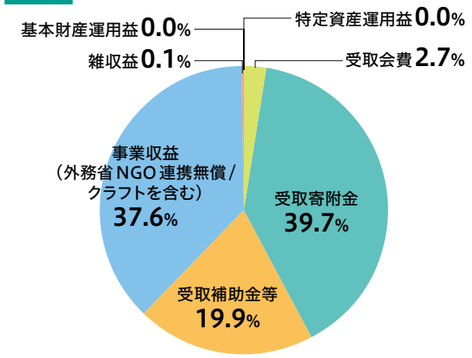
**負債の部**

| | |
|---|---|
| 1. 流動負債（預り金等） | 56,113,011 |
| 2. 固定負債（退給引当金） | 24,848,724 |
| **負債合計** | **80,961,735** |

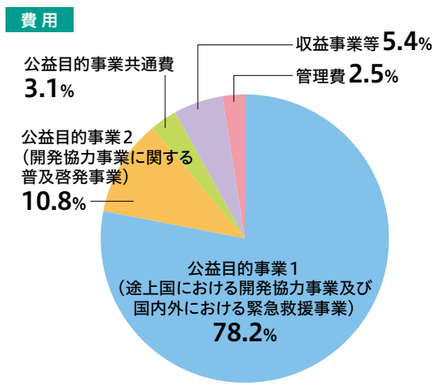
**正味財産の部**

| | |
|---|---|
| 1. 指定正味財産 | 354,506,387 |
| 2. 一般正味財産 | 77,338,362 |
| **正味財産合計** | **431,844,749** |
| **負債、正味財産合計** | **512,806,484** |

**収益**




**費用**




## 正味財産増減計算書

2019年1月1日から2019年12月31日まで

〈一般正味財産の部〉

**経常増減の部**　（単位：円）

| | |
|---|---|
| （1）経常収益 | |
| 基本財産運用益 | 97,500 |
| 特定資産運用益 | 213,009 |
| 受取会費 | 22,921,000 |
| 受取寄附金 | 333,412,154 |
| 受取補助金等 | 167,001,027 |
| 事業収益（外務省NGO連携無償/クラフトを含む） | 315,391,610 |
| 雑収益 | 616,930 |
| **経常収益合計** | **839,653,230** |
| （2）経常費用 | |
| ①事業費 | |
| 公益目的事業1（途上国における開発協力事業及び国内外における緊急救援事業） | |
| タイ事業費 | 7,630,260 |
| カンボジア事業費 | 92,077,468 |
| ラオス事業費 | 41,153,401 |
| ミャンマー難民事業費 | 63,500,344 |
| アフガニスタン事業費 | 215,223,586 |
| ミャンマー事業費 | 68,053,560 |
| ネパール事業費 | 73,794,261 |
| 東日本大震災支援事業費 | 6,829,043 |
| 緊急支援費 | 29,381,597 |
| 海外事業支援費 | 58,425,949 |
| アジアの図書館サポーター事業費 | 4,764,610 |
| **公益目的事業1合計** | **660,834,079** |
| 公益目的事業2（開発協力事業に関する普及啓発事業） | |
| 絵本を届ける運動事業費 | 38,583,776 |
| 広報事業費 | 52,412,821 |
| **公益目的事業2合計** | **90,996,597** |
| 公益目的事業共通事業費 | 26,176,510 |
| **公益目的事業合計** | **778,007,186** |
| 収益事業等 | |
| クラフトエイド事業費 | 40,531,129 |
| 業務委託費（コンサル） | 0 |
| 本で寄付するプロジェクト事業費 | 4,939,788 |
| **収益事業等合計** | **45,470,917** |
| 管理費合計 | 21,545,095 |
| **経常費用合計** | **845,023,198** |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | ▲5,369,968 |
| 評価損益等計 | 0 |
| **当期経常増減額** | **▲5,369,968** |

**経常外増減の部**

| | |
|---|---|
| 経常外収益計 | 2,246,789 |
| 経常外費用 | 5,430,911 |
| 当期経常外増減額 | ▲3,184,122 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | ▲8,554,090 |
| 法人税、及び事業税 | 70,000 |
| 当期一般正味財産増減額 | ▲8,624,090 |
| 一般正味財産期首残高 | 85,962,452 |
| **一般正味財産期末残高** | **77,338,362** |

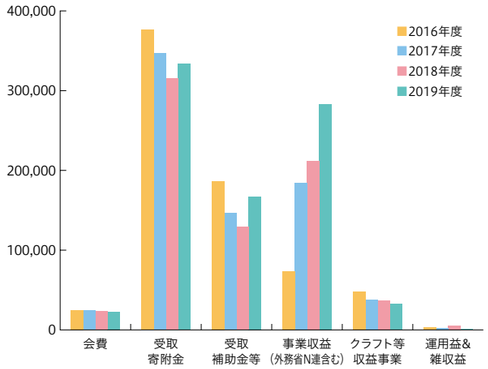
〈指定正味財産の部〉　（単位：円）

| | |
|---|---|
| 基本財産運用益，特定資産運用益 | 310,509 |
| 受取補助金 | 321,868,012 |
| 受取寄附金 | 170,498,701 |
| 一般正味財産への振替額 | ▲519,883,600 |
| 補助金返還金 | ▲8,547,241 |
| 当期指定正味財産増減額 | ▲35,753,619 |
| 指定正味財産期首残高 | 390,260,006 |
| **指定正味財産期末残高** | **354,506,387** |
| **正味財産合計** | **431,844,749** |

## 年度別収益推移表（一般正味財産）

（単位：千円）

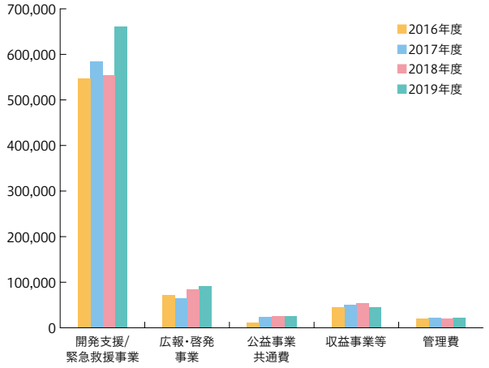
| 収益 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---|---|---|---|---|
| 会費 | 24,941 | 24,364 | 23,296 | 22,921 |
| 受取寄附金 | 376,188 | 346,663 | 315,266 | 333,412 |
| 受取補助金等 | 186,659 | 146,443 | 129,057 | 167,001 |
| 事業収益（外務省NGO連携無償を含む） | 73,539 | 184,771 | 211,718 | 282,868 |
| クラフト等収益事業 | 48,037 | 38,268 | 37,329 | 32,524 |
| 運用益＆雑収益 | 2,769 | 2,311 | 5,121 | 927 |
| **合計** | **712,133** | **742,820** | **721,787** | **839,653** |




## 年度別費用推移表

（単位：千円）

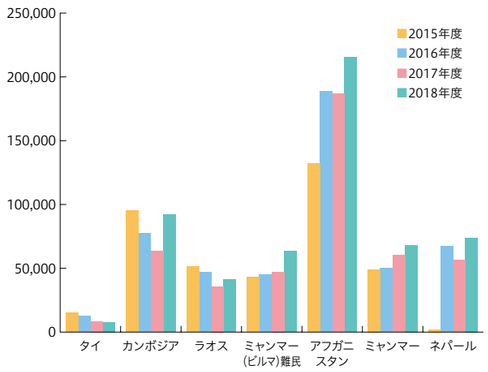
| 費用 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---|---|---|---|---|
| 開発支援／緊急救援事業 | 548,097 | 584,080 | 553,949 | 660,834 |
| 広報・啓発事業 | 72,846 | 65,425 | 84,210 | 90,997 |
| 公益事業共通費 | 12,236 | 23,486 | 26,541 | 26,177 |
| 収益事業等 | 45,730 | 50,786 | 53,389 | 45,471 |
| 管理費 | 19,630 | 22,821 | 20,428 | 21,545 |




## 年度別開発支援事業費推移表

（単位：千円）

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 |
|---|---|---|---|---|
| タイ | 15,054 | 12,660 | 8,389 | 7,630 |
| カンボジア | 95,193 | 77,363 | 63,481 | 92,077 |
| ラオス | 51,211 | 46,888 | 35,764 | 41,153 |
| ミャンマー難民 | 43,015 | 44,945 | 47,306 | 63,500 |
| アフガニスタン | 132,067 | 188,703 | 186,673 | 215,224 |
| ミャンマー | 49,292 | 50,021 | 60,286 | 68,054 |
| ネパール | 2,230 | 67,260 | 56,465 | 73,794 |




［独立監査法人の監査報告書抜粋］

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産激減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

2020年2月25日

田中義幸公認会計士事務所

公認会計士　田中義幸

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会は、当会監事による監査および田中義幸公認会計士事務所による財務諸表の外部監査を受けております。

公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
Shanti Volunteer Association

## 2019年度年次報告書

発行日　2020年5月1日
発行所　公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

〒160-0015　東京都新宿区大京町31　慈母会館 2・3階
TEL 03-5360-1233　FAX 03-5360-1220
URL　www.sva.or.jp
Email　info@sva.or.jp

**シャンティへのご寄付は税控除の対象になります。**
詳しくは弊会またはお近くの税務署か税理士にご相談ください。

**インターネットから
クレジットカードでの
ご寄付はこちらから**

**郵便局・ゆうちょ銀行からのご寄付はこちらから**

**郵便振替 00150-9-61724**
**加入者名 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会**

上記の口座は手数料が免除されている口座です。
郵便局の窓口でお振り込み手続きいただきますと手数料が免除されます。
（※ATMやゆうちょダイレクトをご利用の場合は手数料が免除されません）

**「年次報告書」制作にご協力いただいた方々**
制作協力：**藤原 千尋**（フリーライター）　デザイン：**佐藤 理樹**（アルファデザイン）　写真：**川畑 嘉文、安井浩美**